
見えない悪意

白瀬治臣

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

見えない悪意

【コード】

N0534A

【作者名】

白瀬治臣

【あらすじ】

ホラー系ショートショートです。短いのですぐに読めます。

子供のころ、童話のアリスを見てもちつとも怖いなんて思ったことはなかった。それが今はとても怖い。

私は現在ある種の幻覚に悩まされている。いや、悩むなどという生半可な表現ではこれを表せない。気が狂った方がまし、いっそも感じなくなればいいと思うほどだ。

私の目の前に顔だけが見える。誰のものかわからない、輪郭を持たず、大きならんらんとした、黄色い濁った目と、終始にやにや笑いを止めない大きく開いた口だけが。

チエシヤ猫を思わせるそれはいつも私の周りをふらふらと、ある時は非常なスピードを持って目まぐるしく、またある時はじつとこちらを伺うかのように、私の斜め上空で微風も感じさせずに静止している。

私はつい考えてしまう。この顔の見えない部分はどうなっているのか。それがどんなに、奇妙で見慣れぬ、そして、そのために自分に恐怖を呼び起こすだろっ動きをしていることか。時々、その想像が現実のものになるのではないかと、鏡をのぞくたび、車中から暗闇をかんがみるたび、誰もいないはずの自分の背後を振り返る時、想像する。そうすると、笑い猫のようなそれは、ほんの一瞬、自分の想像通りの形を取り、私の心臓を飛び上がらせる。実際は相変わらず元のままの不気味な微笑みだけだ。

空中に浮かぶ得体の知れない恐怖のために、私は徐々に純粹な思考力を失い始めた。それが返って、冷静にそれを私に観察させる結果となった。あれは子供のいるところで一番活動が活発になる。登下校中の小学生の背後に忍び寄り、脅かすように伸び上がり、猫のように透明な毛を逆立ては唸った。それを何度も何人も背後で繰り返して、ようやく一人に的を絞るとその子供の周りをぐるぐる回り

続け、大きくなったり小さくなったりした。

ある時、いつものようにあれが登下校中の子供たちの中を巡っていると、そのうちのある二人連れの前で静止した。一人は活発そうな子供で、もう一人は陰気そうだった。笑い猫は陰気そうな方に寄り添って進み、しばらく進んだ。陽気で活発そうな方が、暗い表情をしている、何事にも遠慮深そうな方に何か話しかけている。近づいて耳を傾けてみると、決して仲良く話題に興じているわけではなく、陽気なほうがほとんど一方的にしゃべっていた。その内容は、陰気な方の神経を逆なでするほどでないにしても、チクチクと刺すような、主に相手の性質についての話題だった。たぶん、陽気な方はそれほど大した悪意もなく言っているだけだろう。しかし、陽気な方の声が大きくなるたび、笑い猫は狂乱するほど喜んで、二人の頭上をぐるぐるした。高速で動いているにも関わらず、今まで見えなかったその輪郭がはつきりと見えるようだった。

悪意だ、しかもすごく単純な悪意の化身であれば。

唐突に私は悟った。

子供の悪意は単純で、実際にはそれほど裏などないものだ。しかし、その単純さゆえに本来の姿が見えにくくもある。想像力が思考に霞をかけ、疑心暗鬼の永続ループに突入するからだ。この悪意がそんなに単純であるうはずがない、と。隠された別の意味を持ちはしないだろうか、と。笑い猫はいつまでも二人の頭上を回り続けると見えだが、さっと身を翻して、陰気な方の目の前に降り立った。突然、悲鳴を上げたその子供を見て、私は一人、冷静に、ああ、あの子も見えるようになった、と思った。

(終)

(後書き)

ご拝読ありがとうございました。
感想いただけると嬉しゅうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0534a/>

見えない悪意

2010年10月9日22時41分発行